

# 議会だより

# せら

庵金福寺五輪塔群

## 大田庄時代の 五輪塔群

### ■今号の主な記事

- 第2回定例会補正予算の姿 ..... 2～3
- 委員会は今 ..... 5～8
- ありやあ どうなつたかの～ ..... 9
- ズバリ町政を問う 9議員19問 ..... 10～19
- サロンの仲間たち ..... 20

p.20に表紙紹介

No.70

令和4年7月15日発行

メールアドレス gikai@town.seraj.hiroshimajp

発行／広島県世羅町議会 編集／議会広報広聴調査特別委員会

# が決まりました

第2回定例会は、6月1日から13日まで開会した。一般質問は、9人が19項目にわたり施策を質した。議案4件、報告3件、承認3件、陳情3件、発委1件を審議した。

## 主な内容

### 条例の一部改正

- ・世羅町税条例等の一部改正
- ・世羅町国民健康保険税条例の一部改正

### 補正予算

#### 子育て応援

- ・子育て世帯への臨時特別給付金

(令和3年9月分の児童手当の受給者でなかったが令和4年3月分の児童手当の受給者になった者)  
対象児童一人につき10万円  
事業費 66万円

## 1.支給対象者

①②の両方に当てはまる方  
(※ひとり親世帯分の給付金を受け取った方を除く)

① 令和4年3月31日時点で  
**18歳未満の児童**  
(障害児の場合、**20歳未満**)  
を養育する父母等  
(※令和5年2月末までに生まれた新生児等も対象になります。)

■令和4年度  
② **住民税(均等割)が非課税**の方  
または  
■令和4年1月1日以降の収入が急変し、  
**住民税非課税相当**の収入となった方

## 2.支給額

児童1人当たり一律 **5万円**

・子育て世帯生活支援特別給付金  
(ひとり親世帯以外分)  
対象児童一人につき 5万円  
事業費 775万円

# 第2回定例会

議会を傍聴してみませんか  
次回の定例会は9月です

日程は無線放送・CATV・ホームページでお知らせします。  
またケーブルテレビで本会議の中継をしています。

# こんなこと

## 1. 支給対象者

■以下の①～③のいずれかに該当する方

- ① 令和4年4月分の児童扶養手当受給者の方
- ② 公的年金等を受給していることにより、令和4年4月分の児童扶養手当の支給を受けていない方  
(「公的年金等」には、遺族年金、障害年金、老齢年金、労災年金、遺族補償などが該当します。)
- ③ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変するなど、収入が児童扶養手当を受給している方と同じ水準となっている方

※上記②又は③に該当する場合であっても、ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯対象の子育て世帯生活支援特別給付金の支給を既に受けている場合は、本給付金の支給は受けられません。

## 2. 支給額

児童1人当たり一律 **5万円**

・子育て世帯生活支援特別給付金  
(ひとり親世帯分)

対象児童一人につき 5万円  
事業費 800万円

保育士等処遇改善臨時特例事業

コロナ禍における処遇改善として賃金の3%  
程度のUP  
事業費 522万円

新型コロナウイルスワクチン接種業務

4回目接種に係る接種業務の委託料等  
事業費 1922万円

世羅小学校ナイター照明設備の更新

ナイター照明のLED化を完了する  
事業費 1530万円



## 陳情の審査及び採決結果

6月定例会において、3件の陳情審査を行い、本会議で採決しました。

番号	件名	陳情者	委員会の審査意見・結果	本会議採決結果
1	世羅中学校遠距離通学生徒の平等な教育環境整備と安全確保のお願い(スクールバスの運行に関する陳情書)	世羅町安田1928 大見地区世羅中学校バス通学生徒保護者一同 総意を代表するもの 法正 映真	町内の3中学校間の不公平の是正が求められているとの意見が出され、賛成全員により「採択すべきもの」と決定。	採択
2	第2回世羅中学校遠距離通学生徒の平等な教育環境整備と安全確保のお願い(緊急の臨時バス運行に関する陳情書)	世羅町安田1928 大見地区世羅中学校バス通学生徒保護者一同 総意を代表するもの 法正 映真	町内の3中学校の遠距離通学者にアンケート調査を行い、9月補正予算で対応したいとの説明を受け、賛成全員により「採択すべきもの」と決定。	採択
3	2023年度地方財政の確立に関する要請	世羅町大字西上原123番地1 自治労世羅町職員労働組合 執行委員長 山田 信夫	地方自治体の安定的財源の確保は必要であるとの意見が出され、賛成全員により「採択すべきもの」と決定。	採択

## 提出議案等の採決結果

令和4年 第2回世羅町議会定例会 (令和4年6月)

(報告を受けたもの)

議案番号	提出議案
報告第2号	令和3年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
報告第3号	令和3年度上水道事業会計予算繰越計算書の報告について
報告第4号	令和3年度公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について

(賛否の分かれたもの)

議案番号	提出議案	採決	高橋	上羽場	上本	矢山	向谷	田原	藤井	松尾	徳光	久保	山田
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(世羅町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	世羅町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対

(全員一致で決定したもの)

議案番号	提出議案	採決	議案番号	提出議案	採決
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(世羅町税条例の一部を改正する条例)	承認	陳情第1号	世羅中学校遠距離通学生徒の平等な教育環境整備と安全確保のお願い(スクールバスの運行に関する陳情書)	採択
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度一般会計補正予算(第1号))	承認	陳情第2号	第2回世羅中学校遠距離通学生徒の平等な教育環境整備と安全確保のお願い(緊急の臨時バス運行に関する陳情書)	採択
議案第28号	世羅町税条例の一部を改正する条例について	可決	陳情第3号	2023年度地方財政の確立に関する要請	採択
議案第30号	令和4年度一般会計補正予算(第2号)	可決	発委第1号	地方財政の充実・強化に関する意見書提出について	可決
議案第31号	財産の取得について(パソコン端末等123台)	可決			

# 報告します

# 委員会は 今

## 撤去工事を厳しくチェック

光ファイバ網整備調査特別委員会

### ●旧情報通信設備撤去工事

4月18日に旧情報通信設備撤去調査・設計・施工監理業務が落札決定した。

落札者は(株)ダック(広島市中区鶴見町4番25号)

落札金額は647万2千400円(税込)

今後の予定については、6月下旬から8月にかけて調査・設計・施工監理業務の設計部分引渡し、工事の入札執行、次いで落札決定及び仮契約締結、工事請負契約締結議案提出となっている。

委員から、事業開始当初に示された総事業費4億5000万円に対し、今回の設計監理業務約6400万円と令和4年

度工事予算額4億1900万円の合計約4億8000万円では、当初予定の総事業費を上回る。また、総事業費に対し設計監理部分の比率が高いかどうかという意見が出された。

工事費に対して今回の設計監理業務の比率は高いと映るが、これは工事費に対して何%という発注方法、設計書の算定ではなく、設計や監理の部分でどういった員数が必要なのか、成果品のとりまとめにどういった工数、員数が必要なのかという積算をしている。業務内容については、設計と施工監理と、成果品をきちんと納めていたかどうかということが変わりはない。

業務費としても小さい業務費ではないので、これからの執行にあたっては省略できるところ、減額できるところは受注者と協議しながら費用低減に努めていく必要がある。適正な業務の積算とその成果を納入頂く際には、その品質が確保していただけるように適切な設計とそして入札事務の執行にも引き続きあたっていく。

また、現在も不足しているD・O・N・Uの調達見込みは、11月から12月頃に調達できるのではないかという見通しで進めている。

### ●議会報告会

5月から6月にかけて13自治センターで開催する議会報告会・意見交換会の日程及び内容などについての確認を行った。



議会報告会

### ●議会報告会・意見交換会の中間とりまとめ

各会場で出された意見を整理し、13自治センターに回答するため、5月21日及び22日開催の6会場

で出された意見の中間取りまとめを会場ごとに行った。6月4日及び11日開催の7会場分は、13日に閉会中の委員会で取りまとめをすることを確認した。

### ●世羅町議会基本条例の運用

基本条例の第21条に「議会は、この条例の目的が達成されているかを必要に応じて検討し、適切な措置を講じるものとする。」と規定されていることから、基本条例の各条文のうち、評価の対象となる項目については各議員で評価を行った後に取りまとめを行うことを確認した。なお、このことについては閉会中の調査事項とした。

## 3年ぶりに議会報告会を実施

議会改革調査特別委員会

特別委員会とは…特別委員会は、特定の問題を審査または調査するために必要に応じて設置される委員会です。

# 行政組織のデジタル化を調査 税務課・学校教育課・社会教育課

デジタル化推進調査特別委員会

令和4年6月9日

●長期総合計画後期基本計画におけるデジタル化の状況について、税務課・学校教育課・社会教育課を調査

## 税務課

●e-TAX（国税電子申告・納税システム）及びe-LTAX（地方税ポータルシステム）の推進による申告・課税業務の効率化に取り組んでいる。

e-TAXの申告は、全確定申告3973件の内3050件、率にして76・8%で、コロナ禍による3密回避にも繋がっている。

e-LTAXは、地方税の手続きをインターネットを利用して行うシステムで、納税件数では町県民税の特別徴収701件、法人町民税100件の利用がある。

業務の効率化では、会計課と金融機関を通信回線で結び口座振替を行うフームバイキングを始め、コンビニ納付やペイペイ、ペイジー、ラインペイを利用した納付ができるようになってきている。

次に、デジタル化の推進では、町の公式LINEのメニューの中で、申告会場の混雑状況や町民の皆様の利便性の向上となる配信が可能な



e-TAXは自宅で納税手続き

いかなど、企画課と連携する中で検討したい。

課題は納税証明のコンビニ交付が、納税から証明書発行までのタイムラグが1週間から10日を要するため、できていないところである。

## 学校教育課

●取組み状況は、①ICT推進教員を中心にICTを活用した実践事例集を作成し、クラウドの保存ができたこと。このことは授業づくりにおける授業改善の一助となっている。

②学習用端末を持ち帰ることで、児童生徒個々の学習状況に応じた学習を進めることができている。

保護者を巻き込んだ取組みを推進している。

③授業支援システムの導入である。一人ひとりの発言の機会を確保し、相互に意見交換することで当事者意識を持たすことや、多様な考えに触れ、自分の考えを深めるための授業改善にも繋がっている。

●課題も3点ある。

①教員のICT機器への苦手意識の差により、ICT活用の取組みに差異が生じている。

②学校長の学校経営ビジョンに基づいたICT活用の組織的展開である。今年度はICT推進教員を中心に教育の情報化推進計画を作成し、進捗状況を把握して改善への取組みが見えるようにする。

③情報モラル教育の充実である。今年度は情報モラル教材を導入し、児童生徒の発達段階に応じて体系的に実施する。

## 社会教育課

●電子図書館の構築を考えている。

県内図書館24の内、8図書館が導入している。全国ではトップクラスの導入率である。

導入図書館からの聞き取りでは、コロナ禍であっても資料の閲覧ができる。時間を気にすることができなくなる。読み上げ機能や拡大という紙にはない機能がある。

一方では、購入するコンテンツ、ライセンス料の高さと、多くのものが期間、貸出回数が限定されており、2年毎の更新の是非など、ランニングコスト面と利用率を合わせて見た時に、導入の可否の声があると聞いた。

今後は、詳しい聞き取り調査や導入における選書の方針を検討しながら進めることになる。



電子図書館

# お試しサテライトオフィス せらの魅力を誘致に活かす

産業建設常任委員会

## 現地調査

### ●「お試しサテライトオフィス」への改修計画を調査

地方創生や地域活性化の鍵となるサテライトオフィスを「世羅の宿ひがし」の施設を活用して、「お試しサテライトオフィス」を整備し、世羅の自然豊かな環境とICT環境を、オフィスとして誘致に繋げる取組みである。

### ●西大田地区圃場整備事業及び同地区の集落法人間連携のあり方を調査

圃場整備事業では、令和3年度から掘越地区と賀茂東地区から基盤整備が始まっている。令和5年度



西大田地区圃場整備

には、暗渠排水(フオアス)工事を行う。当地区は、令和6年2月完成予定である。集落法人間連携では、西大田地区7法人が「(株)グリーンファームせら」を設立し、法人間連携による機械や施設の利用など、スケールメリットを活かし取り組んでいる。

### ●上水道事業の具統

#### 事務調査

広島菜、トウモロコシ、白ネギなど、米以外にも多品種の野菜生産に取り組んでいる。今後の取組みは、(株)山豊との連携を推進し、建設中の食品加工工場に納品する野菜を安定的に生産する計画の説明を受けた。

また、経営面積300ヘクタールでは、水稻、大豆、キャベツ、

委員から、「安芸太田町の県水道企業団への不参加は、町への影響がなく、統一化の方向が得策であるとの認識で良いのか。」との意見が出された。

### ●今高野山開基1200年記念事業の状況

実行委員会に対して300万円補助しており、その中で活動計画を立てられている。

今後、今高野山で行われる主な事業は、11月20日の大田庄紅葉まつりが一番大きい事業である。

### ●指定管理施設の現状と課題

各施設の直前2年間の収支状況と入込客の一覧表の説明があった。

委員から、「経営状況から施設の譲渡や売却を考えるべき。」との意見が出された。

### ●コロナ支援金各種

令和2年5月から令和4年度当初予算までのコロナ支援事業の説明があった。委員から「支援金の審査をより慎重にすべき。また、新たな支援策は考えているのか。」の意見が出された。

### ●宇津戸下仮屋地区の臭気問題

臭気指数の直近5月16日測定では、5カ所とも臭気指数15超え、東部養豚組合第3牧場は25、第4牧場は24などの高い数値が出たことの説明があった。

次に、改善計画の進捗状況では、令和3年度事業はすべて完了。4年度事業は施工計画の説明があった。

委員から、「地元住民は我慢の限界にきている。撤退しかない。また、改善計画期間内に臭気が収まらないと改善命令

を求めることになる。臭気が着実に無くなるよう対応してもらいたい。」との意見が出された。

### ●有害鳥獣対策

令和元年度から令和4年4月までの捕獲実績の一覧表の説明があった。猪と鹿の捕獲実績は、4150頭、この外では、1136匹を捕獲している。

侵入防止柵の補助申請と実績では、令和2年度から令和4年度4284件、1247万円余を補助している。

### ●令和4年度行政視察

徳島県神山町の「サテライトオフィス」及び美馬市の「町並み保存」について、相手方との調整がついたので、7月5日から6日の2日間を実施することを決定した。

常任委員会とは…常任委員会は議案や請願・陳情を詳細に審査し、町の事務を専門的に調査するため常時置かれている委員会です。

# 利便性が求められるまちなか循環タクシー

総務文教常任委員会

## 現地調査

### ●大見地区要望路線 (空口・日並・鳥の子など)の状況確認

大見地区から遠距離通学をする世羅中学校生徒は、小学校のスクールバスに混乗する形で対応して

おり、今回通学路の確認を行った。

### ●陳情第1号、第2号の町の考え方は

部活動休養日や行事などによる、早下校時はスクールタクシーで対応。冬季に



子どもに寄り添った集落対策を

については、下校便でのスクールタクシーの運行を検討。町内3中学校の見直しについては、遠距離通学生徒へのアンケートにより実態を把握し、一定のルールを策定。

## 事務調査

### ●ヤングケアラー研修の実施に向けた取り組みは

教職員の研修を年2回実施しており、教育委員会では、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーや子育て支援課と連携し取り組んでいる。

### ●带状疱疹ワクチン接種の周知状況は

医療機関と連携し、带状疱疹の症状等の

周知の機会を増やし、ワクチン接種に繋げると共に、県内では接種の助成制度はないが、情報収集し研究する。

### ●児童虐待防止の相談体制は

子育て世代包括支援センターは、妊産婦・乳幼児とその保護者を対象に支援。子ども家庭総合支援拠点も、要支援児童及び要保護児童に対し、早期発見から虐待の未然防止・再発防止に必要な情報提供・助言・指導など関係機関との連絡調整を行っている。

### ●ひきこもりについて関係課の重層的な援体制及び利用状況は

子育て支援課、健康保険課、福祉課で重層的に取組んでいる。3人の方から相談を受け、医療機関とも連携し支援して

いる。

### ●ひとり暮らし高齢者巡回訪問事業の実施状況は

地域内に生活支援コーディネーターを設置し、65歳以上で介護保険サービスを活用している人などを対象に、人や団体をつなぐ地域のサポート役として活動している。

### ●くるりん号の利用状況は

まちなか循環タクシーとして、令和4年4月から平日の午前中で運行を開始した。4月の利用者数は42人、5月は78人で徐々に利用は増えている。乗降場所別の利用状況は、病院で乗車して商業施設で降車される方が多く、全体の約半数を占めている。なお、自治センターへの停留所設置の要望がある。

### ●令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の配分額は

令和4年度見込み額は、3年度繰越も含め2億5550万円。その内、約7860万円は、原油価格・物価価格高騰対応分として、使途が制限されている。

### ●世羅町特別職の職員で非常勤のもの報酬は

旧世羅町の報酬額を基本とし、合併後の特別職報酬等審議会において審議決定した。その後3回諮問され現在に至っている。報酬額は、委員ごとに依頼する職の内容を勘案して適切な額としている。

### ●令和4年度行政視察について

移住対策と自治活動の取組みを調査するため、高知県梛原町と高知県四万十町の視察を決定。

# ありゃあ

## 自主防災組織支援事業

# どうなったかの～

### 事業内容

地域自主防災組織の活動を支援するため、「自主防災組織防災設備等整備事業助成金交付要綱」及び「自主防災組織防災活動事業助成金交付要綱」に基づく助成を行うとともに、出前講座及び関係団体と連携した支援を行い、地域防災の強化を図ることを目的に平成26年からスタートした。

#### ● 自主防災組織率

	達成目標	達成率及び実績値
令和2年度	100%	71.9% (38団体)
令和3年度	80%	76.5% (42団体)
令和4年度	85%	(42団体) 6/15現在

#### ● 補助金

	予算額	決算額
令和元年度	450,000円	329,326円
令和2年度	950,000円	335,640円
令和3年度	1,250,000円	*未公表
令和4年度	1,250,000円	

※令和4年9月定例会へ提案予定

#### ● 課題

出前講座などは新型コロナウイルス感染症の影響により、実施は減っている。助成金の申請や訓練の実施を定期的に行っている組織は少ない。

未だに組織化されていない地域もあり、自主防災組織の必要性の理解を深める働きかけが必要である。また、役員のなり手がいないことが、大きな壁となっている。

# 町政を問う

## 9 議員19問を<sup>ただ</sup>質す

### 一般質問とは？

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点を<sup>ただ</sup>質したり政策を提案することを一般質問といいます。

質問時間は1人30分以内で、答弁時間は含みません。

ページ	質問者	質 問 事 項
11	矢山 武議員	1 給食センター建設への取組みは 2 農業の生産資材高騰への支援を 3 老人クラブをどう盛り上げるか
12	高橋 公時議員	1 自治会・振興会への指導監督権限は 2 自治振興のあり方と町の役割は
13	上本 剛議員	1 町道長谷線の今は 2 脱炭素社会に向けて町の活動は
14	徳光 義昭議員	1 せら夢公園（せら県民公園）の振興策は
15	上羽場 幸男議員	1 鳥獣害対策の取組みは 2 世羅町公共施設等総合管理計画の見直し後は
16	松尾 陽子議員	1 アピアランスケアの充実を 2 「デートDV」防止教育を
17	藤井 照憲議員	1 コロナの第7波対策は 2 育児休業取得の働き掛けは 3 基幹的農業の方策は
18	久保 正道議員	1 携帯電話通信環境の整備要望を 2 農業農村を守る対策を
19	向谷 伸二議員	1 環境問題への積極的支援は 2 広島広域都市圏ポイント「としポ」の活用は

# 給食センター

## 建設への取組みは

**答** 整備計画策定後に

## 新位置で設計

**矢山** 今年度の準備作業はどうか進めるか。

定した後に、具体的な設計に着手する。

**教員** 施設の規模や能力について、モデルプランと概算事業費の算出などを行うと共に、運営における持続可能性の面から、民間活力導入の可能性も併せて調査する。

**矢山** 位置については、現在地での建設はどうか。

**教員** 安全で円滑な配送ができる経路の確保や、周辺への配慮などから適地を選定する。

整備基本計画を策

現在地では、工事



矢山 武 議員

期間中に給食提供ができないので、別の場所に建設となる。

# 農業の生産資材高騰

## への支援を

**答** 課題把握に努め必要な

## 支援を

**矢山** 米の所得は、昨年よりさらに厳しいと思われるが、今年の米の作付け状況と他の作物への転換はどうか。

多くの農家への対応を進めるべきではないか。

**町長** 小規模農家への支援については、どのようなものが必要なのか検証しているところであり、効果的な支援策を検討する。

**町長** 昨年は、作付け目安率70%に対して69.1%の実績である。今年度は、昨年と同じ目安であり、昨年の他の作物への転換は、麦が43ha、大豆・小豆が60ha、その他の野菜果樹などが200haである。

**矢山** 担い手や法人への対応だけでなく、

**町長** 経営や耕作の

課題の把握に努め、農林業振興対策事業補助金を通じて、町独自の支援を図る。

# 老人クラブを

## どう盛り上げるか

**答** 楽しく暮らせる支援を

**矢山** 老人クラブ活動の実態を把握した対応をすべきであるが、どう考えているのか。

**町長** 地域の高齢者が広く加入し、参加しやすい仕組みづくりが必要と考えている。

**町長** 行事などを中止したことで、不用額は返還をお願いして、適正な予算執行に努めている。住み慣れた地域で健康を維持し、楽しく暮らし続ける支援をしていく。

**矢山** 感染対策を行いながら活動するべきではないか。

**町長** 活動における感染対策を広報し、規制がある中でも安心して活動できるように支援する。

**矢山** 役員が決まらず活動を中止する状況をどう改善するか。



## 自治会・振興会への 指導監督権限は

**答** 必要な指導・助言に  
努める

**高橋** 3月定例会の  
発議第3号として、  
大田地区振興会連絡  
協議会の監査結果報  
告に基づき、適正な  
補助金の支払いとな  
っているか、執行機  
関への是正措置を求  
める決議を議会に提  
出した。

指定管理者及び公金  
が支出されている団  
体において、指導監  
督の徹底を求めたも  
のである。11名の議  
員による採決の結果  
は、賛成多数で可決  
した。

この結果をふまえ  
て今後、執行機関と  
して自治会・振興会  
の指導監督をどのよ  
うにするのか。

**町長** 毎年度、事業  
終了後に自治組織か  
ら提出される指定管  
理料、人件費及び自  
治振興交付金のそれ  
ぞれについて、事業  
報告並びに収支決算  
書などにより、事業

## 自治振興のあり方と 町の役割は

**答** 地域課題に寄り添った  
支援を

**高橋** コロナ禍によ  
り、まる2年間、行  
事や活動が自粛され  
てきた。その間、地  
域において様々な問  
題が発生してきてお  
り、私にも直接の相  
談、また郵送による  
文書が数件届き、各  
地域における自治振  
興の問題提起につい  
ての訴えがあった。

そこでまず、自治  
センターの職員の勤  
務体制・職務規程を

の実施状況や収支状  
況を確認している。  
引き続き、補助金  
交付の適正な処理に  
際し、自治組織に対  
し必要な指導・助言  
に努める。

**町長** 行事を通じて  
地域の皆さんの交流  
は、自治活動の重要  
な取り組みであり、し  
っかりと感染対策を  
していた大きながら  
自治活動を再開して  
いただけるよう支援  
する。

**高橋** これまでの地  
域活動の拠点であつ  
た、自治センターを  
中心とした地域づく

りに限界があると思  
うが、新たな自治再  
編に向けた考えは。

**町長** 自治組織にお  
いて13地区の枠組み  
の中で、特色を生か  
した自治活動に熱心  
に取り組んでいただ  
いている。地域課題に  
寄り添った支援に努  
めたいと考える。現  
時点では新たな自治再  
編は検討していない。



新体制に期待

**町長** 自治センター  
職員の勤務規律、労  
働条件その他の就業  
に関する事項につ  
いては、各自治組織が  
就業規則で定めてい  
る。

**高橋** 自粛が緩和さ  
れ、再開に向けた行  
事・サロンなどの取  
組みは。

# 町道長谷線の今は

## 答 早期に残りの改良計画を検討

**上本** 通学をしている生徒の安心安全な通学路の認識は。

**教員** 学校で児童生徒が生き生きと活動し学ぶためには、安全確保が不可欠。通学路においては、交通事故や転倒事故などに遭う危険性や、不安感が少ないことなどが必要である。

**上本** 早期に残り区

間の改良工事着手は。

**町長** 平成28年度に町道世羅中央線から主要地方道三次大和線までの改良工事が完成したが、町道世羅中央線から主要地方道世羅甲田線までの未改良区間は、一過疎地域持続的発展計画」に道路改良計画路線として掲載している。

現在は、まだ具体



上本 剛 議員

的な計画はないが、世羅町通学路等交通安全プログラムに基づき、通学路対策を進めていく。

# 脱炭素社会に向けて

## 町の活動は

### 答 地域ぐるみのプロジェクトを展開

**上本** 2050年までのロードマップはできているのか、現在までの取組みは。

**町長** 平成31年策定の「第3次脱温暖化せらのまちづくりプラン」に基づいて推進している。

2050年までのロードマップについては、昨年10月に閣議決定された地球温暖化対策計画の中で、「2050年※カーボンニュートラル宣言」では、国の新た

な削減目標の2030年度において温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指す。

これを基に、次期「脱温暖化せらのまちづくりプラン」を令和5年度に策定し、推進する。

**上本** 脱炭素社会に向けた人づくり、協働促進のための施策は。

**町長** 平成20年に「脱温暖化プロジェ

クトせら」を立ち上げ、町民、事業者、町が連携し、協働した脱温暖化のまちづくりを進めるため、変化を実感できる地域ぐるみのプロジェクトとして取組みたい。

**上本** 今後、具体的にどのように取り組んでいくのか。

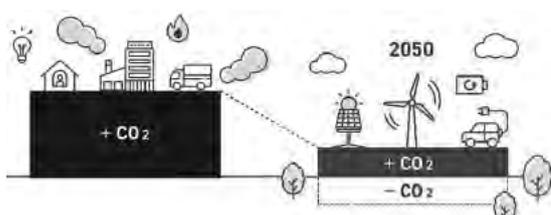
**町長** 第3次世羅町地球温暖化対策実行計画に基づき、25の具体的な取組みを実践している。

また、エコ委員会を設置し、取組みの達成状況の評価や見直しを実施。

**上本** 公用車への電気自動車導入、電気充電スタンドの設置の考えは。

**町長** 町で保有する公用車は、環境に優しく経済的な軽自動車を中心に導入。電

気自動車は1回の充電での走行距離が短く、購入時の価格や維持費が高いことなどのため、導入の予定はない。  
充電スタンドの設置は、役場前より観光施設などへ設置する方が望ましいと考える。



2050年までのロードマップ

※カーボンニュートラル宣言 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。



徳光 義昭 議員

# せら夢公園（せら県民公園）の振興策は 町に有効な施設となる よう努める

**徳光** 今日までの歴史的経緯は。

**町長** 平成10年頃、次の県民公園が議論され、200数カ所の候補地から世羅町が選定された。一方、平成6年に示された広島中央アグリゾー卜構想にて農業公園整備の構想も動いていた。

その成果により「せら県民公園」と「せら農業公園」が統一愛称「せら夢公園」として平成18年4月に開園した。

**徳光** せら県民公園の現状と今後の方向性は。

**町長** 現状は平成18年7月より、指定管

理者「株式会社セラアグリパーク」が一体的に管理運営を行っている。

今後の方向性は、県の「ひろしま公園活性化プラン」に従いその実現に努める。

**徳光** クロスカントリーコースの整備後の活用とコースの拡大・延伸の考えは。

**町長** 整備後のこけら落として第37回全国都市緑化ひろしまフェアにおいてクロスカントリー大会を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大でやむなく中止された。

引き続きクロスカントリーのコースの良さを発信すると共に、コースの利用実績を踏まえて県へ要望活動を行う。

**徳光** ファミリーリレーマラソン大会の感想などは。

**町長** この大会運営は、主催者である生協ひろしまが行った。120チーム約850名の方が参加されたと同っている。

園内ふれあい広場で開催された「せら魅力まつり」では、せらワイナリー、夢高原市場、観光協会

が連携し、にぎわい創出に努めた。

今後、生協ひろしまと課題などを共有し、民間の自由な発想や機動的な発信力など、公園の魅力向上に努めたい。

**徳光** 写真資料の県への提供は。

**町長** この大会に限らず、設置者の県へは適宜情報提供を行っている。

今後とも、県・町指定管理者が十分な意思疎通と意思の共有を図っていく。



コープファミリーリレーマラソン in 世羅

# 鳥獣害対策の

## 取り組みは

### 答 侵入防止・環境改善・捕獲に取組む

**上羽場** 防護柵設置に對して、町は助成をしているがそれが効果的なのか、検証しながら一歩踏み込んだ対策を検討すべきだ。捕獲に重点を置いた対策を進めるべきと考えるがどうか。

**町長** 町の対策は、侵入防止・環境改善・捕獲の三つを柱

に取組んでいる。捕獲は、町民の方から被害報告された場合、実施隊へ連絡をして現地と被害を確認すると共に、加害動物の特定を行い、捕獲が必要な場合には実施する。又、町民の方が実施される場合もある。捕獲実績はイノシシとシカの場合、平

成30年度770頭から、令和3年度1375頭と増加しており、侵入防止・被害対策支援と、実施隊による捕獲活動を併せて行いたい。

**上羽場** 鳥獣害対策に受益者負担を導入する考えはないか。

**町長** 有害鳥獣捕獲では罾を使用した場

合、設置後の日々の見回りが大きな負担となっている。その為依頼をされた町民の方にできる限り、見回りの協力を求めている。受益者への負担については、現段階では考えていない。実施隊の捕獲活動に関しては国の事業を活用し、できる限り負担軽減に取組んでいきたい。

## 世羅町公共施設等総合管理計画の見直し後は

### 答 公共施設の総量削減を推進

**上羽場** 世羅町公共施設等総合管理計画では、公共施設及びインフラ施設の更新・大規模改修費用が、年平均で約41・1億円と試算されているが、どのような見解か。

**町長** この試算には前提条件があり、例えば公共施設は、現在保有する施設をすべて保有し続け、建築後25年で大規模改修をし、さらに25年後に同規模で建て替えること。また、道



防護柵では防げない鳥獣対策

路は、建設後15年で更新することなどの条件を設けたうえで、年平均で約22・1億円まで低減可能と試算している。

**上羽場** 大幅な公共施設などの縮減は避け、通れないとあるが、何をどうするのか。

**町長** 公共施設等総合管理計画に従い、必要な住民サービス水準の確保と、機能集約を両立させると共に、予防保全を含む施設の長寿命化対策や、有利な財源の活用などにより、適切な公共施設などの配置を進めていきたい。



松尾 陽子 議員

## ※アピアランスケア

### の充実を

## 答 他の市町の動向を把握し検討

**松尾** 町として、上乗せ助成をすることを考えは。

**町長** 町による上乗せ助成は、県の助成制度活用状況や、県内市町の動向など、情報収集を行い研究する。

**松尾** 乳がん患者のための補正下着に助成する考えは。

**町長** 町では、平成26年からがん患者やそのご家族などを対象に、悩みや意見交換の場として「えがおの集い」を実施している。

その中で、補正下着購入助成のニーズを把握する。県や他の市町の動向を把握し、支援のあり方を検討する。

## 「デートDV」

### 防止教育を

## 答 被害者・加害者・傍観者にもさせない

**松尾** 「デートDV」防止教育に対する考えは。

**教員** 「デートDV」防止教育は、義務教育に位置付けられていない。

しかし、義務教育段階においても、共に充実した学校生活を築く主体的な意識や態度を育成し、家庭や社会における男女相互の望ましい人間関係のあり方について、学習する取組みを行っている。児童・生徒が、SNSなどを通じた事件の加害者にも被害者にも傍観者にもならないよう、情報モラル教育の充実に取り組んでいる。

**松尾** 「デートDV」防止教育の講演会を実施する考えは。

**教員** 現段階で、実施の予定はないが、今後、児童生徒の実態などを踏まえた上で検討する。

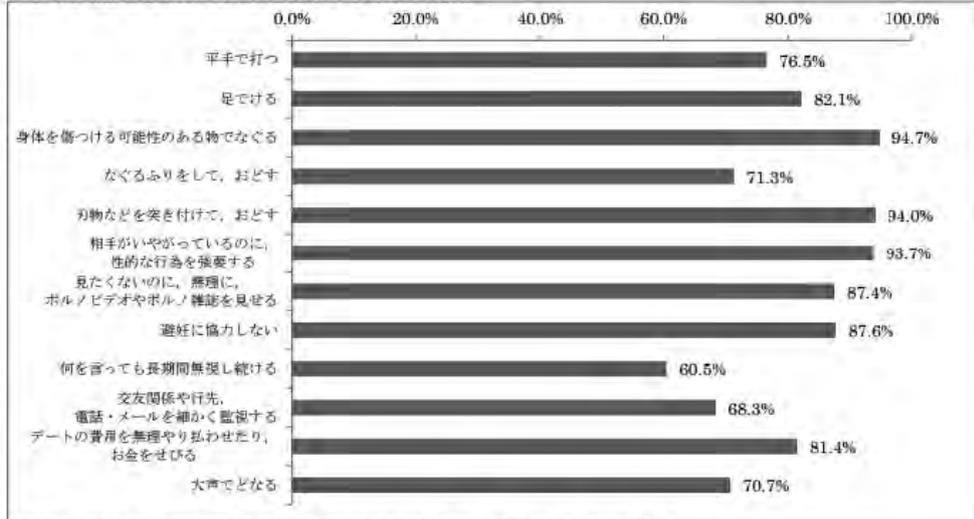
**松尾** 養護教諭が「デートDV」の正しい知識や、実態を学ぶ研修が重要と考えるが。

**教員** 「デートDV」の予防には、児童生徒が発するサインを見逃さない体制づくりを推進すると共に、養護教諭を中心に児童生徒が安心して、相談できる組織体制を確立することが重

要であると考えている。今後は、全教職員に対し文部科学省や県のホームページに掲載されている資料を活用して周知を図

り、教育委員会主催の研修において取上げ、教職員の専門性を高めるための研修のあり方の一つとして重視する。

グラフ14 交際相手からの行為についての暴力としての認識  
「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した割合



※広島県「若年層におけるデートDVに関する意識調査」高校生等 令和2（2020）3月

※アピアランスケア 薬物療法の副作用などによる外見の変化がもたらす患者のストレスを軽減するためのケア



藤井 照憲 議員

## コロナの第7波対策は

### 答 4回目接種の円滑な実施

**藤井** コロナ感染が全年代に広がった理由は。

**町長** 3回目接種は町全体で61%、60歳以上は8割以上、12歳〜19歳は約20%、20歳代が約40%、また5歳〜11歳の2回目接種は約15%であり、20歳代以下の接種率が低いことが考えられる。

**藤井** 今後のコロナ対策は。

**町長** 感染予防の取り組みは、経済活動に多大な影響を及ぼし人々との繋がりも希薄になるなど、孤独や孤立を感じる人が増加傾向にあると言われる。  
社会全体での様々な支援策が必要であり、子どものケアや高齢者などの孤立感

への支援策も重要と考える。

**藤井** 4回目接種の対応は。

**町長** 接種に係る体制整備を進めており、60歳以上の方への接

## 育児休業取得の働き掛けは

### 答 より効果的な周知方を検討

**藤井** 改正「育児・介護休業法」施行の目的及び周知は。

**町長** 令和4年4月より育児・介護休業法改正が施行される。今回は、男性の育児休業制度に焦点が当てられ、企業には、育児休業を取得しやすい雇用環境整備や周知・意向確認の措置の義務化など、更に充実した内容とな

種券は6月中旬を目途に発送し、7月1日から開始予定である。18歳以上の基礎疾患を有する方などへの対応は、申請に基づき接種券を随時発行する。

**町長** 接種に係る体制整備を進めており、60歳以上の方への接

## 働き掛けは

っている。今後ともあらゆる機会を通じて広報に努める。

**藤井** 人口減少への対策になりうるのか。

**町長** この制度改正を歓迎する職場風土が必須の条件と考えており、皆で子ども達を守り育てる機運を一層醸成する啓発に努める。

## 基幹的農業の方策は

### 答 持続可能な農業を見据え支援

**藤井** 日本の食料自給率への認識と町の対策は。

**町長** コメ需要の低下に対応するため、麦、大豆、野菜などへの作付け転換の拡大を進めると共に、省力化や低コスト化、更にはブランド化への取り組みを支援する。

**藤井** どうすれば自給率は上がるのか。

**町長** いかに安心で安全な作物を提供しているかが、今後の課題と認識。このため、国が示す「みどりの食料システム戦略」に取組みたい。

**藤井** ため池の危機管理は。

**町長** 防災重点ため池は259カ所ある。当該ため池は、県の令和3年度〜5年度の詳細診断を受けて、健全度の低いため池の監視強化や整備・補強、或いは廃止に取組む。

**藤井** 農業の魅力を高める対策は。

**町長** 効率的に持続可能な農業を展開している集落法人を将来像と見据え、後継者の確保やスマート農業の導入などを支援する。



久保 正道 議員

## 携帯電話通信環境の整備要望を

### 答 携帯電話各社に要望が必要

**久保** 携帯電話の電波不感地帯・地域の把握はできているか。

**町長** 明確に把握したデータは持ち合わせていない。

**久保** 災害時の緊急連絡などの体制は。

**町長** 情報伝達や避難準備など防災での

備えに「万全」は想定できない。

複数の情報伝達を確保し、平時からの災害への備えを呼びかける。

**久保** 観光農業を行う町内事業者の不便、不都合は。

**町長** 各携帯電話会社とともに整備が進展

し、つながりにくい地域や箇所は改善が図られていると受け止めている。

**久保** 地域の土産物・農産物の販売促進の手法として又、人流をスムーズにする

る為に何が必要と考えるか。

**町長** 世羅町観光協会と連携し、世羅のイメージアップや認知度の向上を図り、町内への誘客を促進している。

## 農業農村を守る対策を

### 答 農業の後継者確保に努める

**久保** 世羅町出身者の定住人口いわゆる後継者をいかにして確保するのか。

**町長** 担い手不足や高齢化は深刻であり、こうした課題に対応するために集落法人の担い手確保策として、ニューファーマー支援事業により、世羅町出身者に限らず、就農を志す方の受け入れ支援を行っている。

**久保** 農業者や農業生産法人の実態と課題は。

**町長** 昨年度アンケート調査を行った結果、労働力の確保や資材コストの高騰が課題である。本年度スマート農業技術の導入に対する支援を開始した。さらに国が進める「一人・農地プラン」の取組みにおいて、地域農業における中

心的経営体や、将来のあり方などを明確化していく作業も支援する。

**久保** 定住促進に向けた対策・支援は。

**町長** 町独自の新規就農者の確保・支援策である「産業創造大学」の取組み、また経営面の支援として、農業機械などの導入支援を行うことで就農者の定着を図り、定住促進の一助とする。

**久保** 農業以外の就業場所の確保の考えは。

**町長** 広島労働局・県・商工会・金融機関などと連携し、実態把握に努めると共に、事業者支援のあり方の検討を深める。

**久保** 工業団地など将来に向けての取組みは。

**町長** 土地の取得や造成、関連工事など初期投資が多額となる工業団地の整備には慎重を期すことが重要である。よって今のところ町が、工業団地を整備する考えはない。



積極的な担い手確保を

# 環境問題への

## 積極的支援は

### 事業者の継続的な改善対策を指導

**向谷** 宇津戸地区悪臭問題や、その他環境問題に対する基本的な考えと、具体的取組みは。

**町長** 住民からの直接的な苦情や陳情が伝えられた場合、現場に出向き、内容を聴取し事実確認に努め、事業者への指導を行っている。

具体的な取組みとして、改善勧告に伴い提出された改善計画の着実な履行に向けて、進捗状況の確認及び指導を行っている。

**向谷** 具体的な取組みに対する成果は。

**町長** 令和5年3月末などを終期とする

改善計画に基づき、畜舎の解体・更新や細霧化工事などの対策が進行中。明確に悪臭公害の改善が確認できる状況ではないが、進捗状況の確認及び指導を継続する。

**向谷** 環境問題が長期にわたり解決できずにいる理由は。

**町長** 起因者である事業者が自らの責任において、解決に向けた努力が不足していること。また、大規模投資による抜本的な改善対策が講じられていないことが、長期化の要因と考える。

**向谷** 環境公害から町民を解放するためには、事業者支援も必要では。

**町長** 事業者の主体的な改善対策を促進する観点から、事業

者支援は有効と認識しているが、町は、事業を継続していくための事業者支援は難しい。

**向谷** 有機農業・環境配慮型畜産業への投資で、町のブランド化を図っては。

**町長** 国が、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するという「みどりの食料システム戦略」を示した。

有機農業の取組み推進や、化学農薬・化学肥料の使用量低減を進める地域への支援が始まった。町内でも、耕畜連携の取組みや、国の環境保全型農業直接支払交付金の活用事例を参考にし、戦略に対応した施策を進めていく。



「としポ」  
古川さんが考案した  
ロゴマーク

## 広島広域都市圏ポイント「としポ」の活用は

### 活用に向けて取組みを深める

**向谷** 広島市の都心部から、概ね60km圏内の28市町で構成されたエリアで導入している、地域共通ポイント制度「としポ」がある。このロゴマークは町出身の学生が考案し採用された。「としポ」は加盟店での買い物や、イベント参加・ボランティア活動でもポイントがたまる。町民同士での支援

**町長** 圏内における経済活動、地域活動の活性化と圏域の発展を目的としている。携帯アプリも導入され、地域情報の効果的な広告宣伝ツールとして活用でき、今後ポイント制度の活用に向けて取組みを深めていく。



向谷 伸二 議員

## サロンの仲間たち

No. 7

# サンサンサロンで元気よく

## 伊尾小谷地区サンサンサロン

毎週月曜日に開催されている伊尾小谷地区サンサンサロンは、今年で開設8年目を迎える。

現在では、毎週20人以上の地域の方が集っている。

午前中は脳トレと百歳体操が基本、午後からはボールを使った体操や遊び、また、最近ではパラリンピックで正式種目になったボッチャ、リズム体操、カラオケでは一人の人が歌うのではなくみんなで歌う。

サンサンサロンでは、「何をするにしても全員でする。」をモットーに和気あいあいとした時間を過ごされている。ボーリングなどは、ペットボトルをピンに手作りして楽しむ。昔懐かしいところでは、ハンカチ落とし、連想ゲーム。

筆者も取材時、ボッチャと早口言葉、ボールを使った遊びなど、参加者の皆さんと楽しい時間を過ごさせていた。

特色のある活動としては、携帯電話事業者を招いて月2回スマホ教室を開

催されている。

町のデジタル化に向けた取り組みを、いち早く見据えた活動の一端を感じた。

筆者が滞在した2時間余りの間、皆さんの笑い声が途切れることはなかった。

毎回、最後は「年を取るってどんなこと」という歌を合唱して締めくくります。

サロン全般をお世話される、久保芳恵センター長は、何をするにも全員でする。地域の高齢化も進み送迎などの課題もあるが、みんなで仲良く元気よく、また、来週も参加したくなる、そんな伊尾小谷地区の常設サロンでありたいと締めくくられた。

(山田睦浩)



## 表紙紹介

### 廃金福寺五輪塔群



この石塔群は、清水家裏山の山林中にある中世墓地。現高96cmの印塔1基、50数基の五輪塔で、ともに大田庄時代の黒淵地頭三善氏関係のものと推測されている。五輪塔は鎌倉時代から室町時代にかけてのものとして推定される。

多数の五輪塔が、一箇所に存在する場所としては郡内でも有数の規模である。

## 編集後記

「議会だより」では、この一年間、町の主な文化財を表紙に採用してきました。No. 69号では、「今高野山開基1200年」実行委員会のメンバーの方に登場して頂きました。この機会に、歴史・文化資源に恵まれた世羅町の魅力の再認識に繋がりたいと考えております。

今年度は、町内各地での記念行事や恵み豊かな世羅の食材を使った「記念メニュー」など、多くの方々が協賛し、先人の歩みや大切にしてきた思いを振り返るイベントが実施されます。

引続き、世羅の文化財をご紹介しますと共に、先日実施しました「議会報告会・意見交換会」でお聞きしました貴重なご意見を真摯に受け止め、「議会だより」の編集に活かし、親しまれる広報誌を目指して取り組んで参ります。

(藤井照憲)

### 議会広報広聴調査特別委員会

委員長／藤井 照憲 副委員長／松尾 陽子  
委員／上本 剛・向谷 伸二・田原 賢司・山田 睦浩



### 世羅町議会 ホームページ

左の2次元コードを  
読み取ってアクセスしてください